

環境に係る情報協議会  
国営農地再編整備事業 北野地区

## 1. 事業の概要(案)

本地区の農地は、ほ場が小区画で排水不良等が生じているとともに経営農地が分散している。そのため、生産性が低く農業経営は不安定なものとなっている。

このことから本事業では、区画整理725haを施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業経営の合理化と効率的な土地利用を図り、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としている。

◆ 受益面積725ha

◆ 主要工事計画      区画整理:725ha、用水路改修:1条

## 2. 鷹栖町の環境に対する考え方

(鷹栖町農村環境計画より)

◆ 農村環境の現状と課題

《現状》

○ 河川の水質悪化・護岸整備で魚類・昆虫類等多種多様な生態系が失われつつある。

○ 自然豊かな農村地域で昔は多種多様な動植物が生息していた。

《課題》

○ オサラッペ川の水質を含めた自然環境の保全。

○ 生態系の多様性など自然環境の保全、稀少動植物の保全。

◆ 環境保全の基本的な考え方

「環境に配慮した農村づくり」を基本目標として、鷹栖町の恵まれた緑豊かな自然環境の保全に努める。

## 3. 事業における環境との調和への配慮方針

本地区の樹林隣接部の緑地には、多様な動植物が生息しているとともに地域景観として重要な構成要素となっている。

また、地区内の排水路が流下する下流河川は、地域内で水質の保全が課題となっている。

このため、事業実施にあたってはこれらの生息環境や景観、下流河川の水質に配慮した整備を進める。

### I. 緑地環境の保全

○ 樹林隣接部の区画整理工事にあたり、樹木の伐採を極力回避し、既存植生への配慮及び地域景観の配慮に努める。

○ 支線排水路の整備にあたり、排水路法面の在来植生の早期回復を図る。

### II. 水辺環境の保全

○ 樹林隣接部の区画整理工事にあたり、両生類の産卵場の保全・確保に配慮する。

### III. 水質の保全

○ 工事中における、下流河川の魚類生息環境に配慮し、濁水流出防止に努める。